

## 【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年4月15日

事業所名：療育ルームりんごの木 こぐれ教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	*当園の訓練指導室は約48㎡あります。国の設置基準である児童一人当たり4㎡以上（放デイ）、集団活動が行えるよう、死角のない指導員の目が届く一つの空間で放課後等デイサービスであれば40㎡以上の広さという基準以上の広さを用意しております。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	0	*児童10人に対し指導員2人という国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。保育士、公認心理師、社会福祉士、音楽療法士など児童、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	*PDCAサイクルを心がけ、日次は午前と午後それぞれ事前・事後ミーティングを行い、週次で職員ミーティングを行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	*放課後等デイサービス事業利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、以降を把握し改善に努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	*今年度が開所初めての評価となりますが、ホームページ上で公表するとともに、周知に努めます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	1	5	*現在は利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題としてまいります。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	*外部研修に参加したり、内部研修を行い、支援の質を高めるよう努めています。 *職員それぞれの専門性の研鑽を奨励しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	*日々の送迎時の申し送りや保護者面談を行いニーズを把握したり、日々のお子さんの様子を記録し、個別支援計画を作成しています。必要に応じて、発達支援センターや外部の医療機関でとった発達検査の結果をお持ちいただき、発達状況を把握し、支援計画に活かしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	*ミーティング等ではスタッフ一人ひとりが自由に意見を言い、支援の仕方や活動の進め方等共通の目標を持って取り組むことを目指しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	*放課後等デイサービスガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点で活動プログラムを立てております。今後も子どもたちが個々のペースで楽しんでいけることを大切にしていきたいです。 *季節や活動時間、一人ひとりの学校・過程での様子も考慮しながら、活動内容を検討し決定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	*活動開始前30分程度職員ミーティングを行い、利用者の様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認し合います。活動終了後も30～45分程度ミーティングを行い、利用者の様子や支援の振り返りを行い記録します。それらを次回のステップアップや改善につなげていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	*活動終了後に30～45分程度ミーティングを行い、利用者の様子や支援の振り返りを行い記録します。それらを次のステップアップや改善につなげていきます。
	18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	*概ね6か月に1度、見直しを行っています。見直しについては、支援に関わる全職員で取り組んでいます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	0	0	*放課後等デイサービスガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点で活動プログラムを立てております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	*開催される場合には、児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など適任者を選んで出席します。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	0	*保護者を通して、情報共有をさせていただいています。また、直接学校に送迎車を乗り入れさせていただく場合は、他事業所とも連携を図りながら情報共有、連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	0	*ご利用に際し、医師からの指示書等により緊急時の対応について確認を取っております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	*弊社内の児童発達支援事業所を卒園した利用者は情報共有がなされています。その他の利用者は必要に応じて情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	0	*無記入1（まだ卒業対象の子どもがいないので分からない） *必要に応じて情報提供等をすることができます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	*心身障害児総合医療療育センターの療育講習会に参加する機会を設けています。 *練馬障害福祉人材育成・研修センターに登録し、必要に応じた研修を受けます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	0	②機会がなかった *交流のみを目的とした活動は行っていませんでしたが、近隣の公園や児童館へ出かけることで、二次的に交流が生まれる場面がありました。今後も地域に根ざした活動を行っていきたく考えております。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	0	②機会がなかった *要請があれば参加する体制はあります。関連するものとして、練馬区障害福祉サービス事業者連絡会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	*日々の送迎の際に子どもの状況や課題について話をする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	0	0	*今年度、ペアレントプログラムとしての実施は行いませんでしたが、職員はペアレントトレーニングの知識を習得できるよう研修の機会を設けています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	*契約時に説明をさせていただいております。また、随時不明な点は職員が説明するようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	*希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2	0	*新型コロナウイルスの影響により、縮小体制で保護者会を行いました。今後の感染流行状況によりますが、来年度（R4年度）は保護者同士が交流できるような内容で年2回の保護者会を予定しております。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	*相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応できるよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	*必要に応じて連絡事項等の情報をおたよりやマチコミメールにて発信しています。今後も、より良い活用方法を検討していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	*個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	*ことばと共にサインを使用する、その日に取り組む活動が視覚的に分かりやすくなるよう配置する、子どもの意思表示に際してカードを利用するなど、伝える方法や意思疎通の方法をお子さんや保護者に合わせるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	0	*今年度は地域住民が参加できる行事や研修開催は感染症予防のため企画できませんでしたので、来年度に向け検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	*マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行ったり、保護者会にて説明しておりますが、周知・訓練について十分でない部分もあるため改善に努めます。マニュアルについても必要に応じて見直していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	*メール配信システムを活用した緊急時の連絡訓練を実施しました。訓練実施報告の周知や児童・保護者を含めた訓練が課題です。 *職員ミーティングの際、避難訓練を行ったり、防災に関する外部研修がある際は職員が参加します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	*外部の研修に職員が参加したり、内部研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	*身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを契約書に記載し説明しています。 *対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	0	*保護者記入の健康状況票により把握しています。また、必要に応じて聞き取りを行っています。 *児童の健康上の配慮点や注意点について、職員一人ひとりが意識できるよう定期的な確認と周知を行っています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	*危険な事例があった場合、特定の報告書に記載しミーティングを通して職員で共有しています。	